

編集後記

突然のメールで招集がかかり、気が付けば編集責任者に。当初組んでいた特集がうまくいかず没になったり依頼者連絡先が不明であったりと言うハプニングもありましたがなんとか仕上がりました。特に、今回特集として組んだ「大学院へ行こう」が新連載になったのは編集責任者として感無量です。そして、私は編集責任者と言っても名ばかりで、この歯学部ニュースは編集委員の諸先輩方、執筆者の先生方と学生諸君の多大な協力があつたからこそ出来上がった1冊であり、お忙しい中、協力と助言をして下さった編集委員の諸先輩方、そして、急な原稿依頼にも嫌な顔一つせず引き受けて下さった執筆者の先生方と学生諸君には感謝とお礼を申し上げます。 勝良 剛詞

初めて歯学部ニュース編集委員を務めさせていただきました。快く原稿依頼をお引き受けいただいた諸先生、学生の皆さんにあらためて御礼申し上げます。また、情報収集にあたり、歯学部事務方の皆様にお世話になりました。その記事は今号ではなく次号に掲載予定となりますが、この場を借りまして御礼申し上げます。

今回の経験で、“旬の記事”を掲載することは結構大変なことだと気づきました。今までは一読者でしたが、今後は歯学部ニュースを読む視点が変わるのではと思います。 石崎 裕子

前々号で素顔紹介を掲載して頂いたのも束の間、今回、歯学部ニュースの編集委員を仰せつかりました。私は特集のテーマに沿った内容での原稿執筆を先生方をお願いさせていただきました。皆様、お忙しい立場にも関わらず、迅速かつ適切な原稿をいただき、楽しく仕事をさせていただきました。大変感謝しております。本号ではタイムリーな救急蘇生法に記事の掲載もできました。急なお願いにもかかわらず快くお受け頂いた先生方に改めてお礼申し上げます。 黒川 孝一

中越沖地震で被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。3年前の地震の折、私の十日町在住の両親に電話が通じるようになって直ぐ、前にTVで阪神・淡路大震災経験者が語っていた「水道が復旧するまでトイレは段ボール箱等の内側にビニール袋を張り、新聞紙を入れてその中に用をたし、そのままビニール袋を縛ってゴミに出す」ことを伝えました。避難所へは行かなかったこともあり役に立ったとのこと。読者の皆様に「無駄な知識」となります様に。原稿をご執筆いただきました皆様ありがとうございました。 庭野 和明

初めて歯学部ニュースの編集委員を担当させていただきました。いつも『歯学部ニュース』を当たり前のように読んでいたのですが、この広報誌が大変貴重なものであるという事を最初の編集会議で知って、少しプレッシャーに感じていました。しかし広報委員会の大島教授、編集責任者の勝良先生、他の編集委員の先生方のご指導により責務を果たす事が出来ました。ありがとうございました。また忙しい時期に快く執筆を引き受けていただいた先生方には心より御礼申し上げます。

福井 忠雄